

"SAX ORGAN DUO"

三木俊雄 + 金子雄太

8月30日(土)

開場 19:30

開演 20:00~

(2ステージ 入替なし休憩あり 途中入場可)

会費 3,000 円

(ミュージックチャージ、ワンドリンク込)

CAFE BEULMANS

お問い合わせ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 卍ロザ成城2F

営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日定休



©Kiyotaka Saito

三木俊雄 (Tenor Sax)

1963年 大阪府生まれ。1986年 関西大学卒業。1986年 パークリー音楽大学にスカラーシップを獲て留学。リッチー・コール・アワードを受賞。サクソスをビル・ピアース、ジョー・ヴィオラに、アレンジをハーブ・ボメロイ、フィル・ウィルソンに師事。ロイ・ハーグローブ(tp)、ジョシュア・レッドマン、マーク・ターナー、シェーマス・ブレイク(ts)、アントニオ・ハート、山田稔(as)ジェフ・キーザー、大西順子(p)、大坂昌彦、ホルヘ・ロッシェ(ds)、レイラ・ハザウェイ、ポーラ・コール(vo)らとセッションを重ねる。1989年ニューヨークに移り住み、約半年間滞在。その間に、ビル・エバンス(sax)、大西順子(p)、大坂昌彦(ds)らとフランスにツアー。1990年帰国 約1年間 大阪を中心に、1991年から東京で活動始める。1996年から自己の率いる10ピースバンド『フロントページ・オーケストラ』の活動を続け、2004年2月 アルバム『Harmony of the Soul』をホッツニュー・レコードよりリリース。2013年10月 フロントページ・オーケストラの2ndアルバム『Stop&Go』を55レコードよりリリース。そのプレーと共に作曲・アレンジでも高い評価を受けている。他にも現在、小曽根真率いる『No Name Horses』のメンバーとして06年ニューヨークで行われたIAJEでのコンサート、09年フランス ラロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバル、スコットランド エディンバラ・ジャズフェスティバルブルーノート、ビルボード全国ツアーにも参加し、またアルバムごとに楽曲を提供する一方、佐山雅弘クロニクルバンドのコンサートマスターを務めている。



金子雄太 (Organ)

1971年9月生まれ 東京・神奈川出身
教会オルガニスト勤務やアマチュアバンドを経て黒人音楽へ傾倒、1990年頃からJazz、Blues、Soul、Funk系のグループで鍵盤奏者としてプロ活動を開始。ジャズの本場アメリカで10都市以上をセッション行脚した1997年以降は、 Hammondオルガン研究を独学で始める。オルガンと大型レスリースピーカーを使って全国で演奏活動を展開し、国内のジャズシーンに於ける Hammondオルガンの存在感を一段階押し上げ、プレイヤーとして広く認知される。現在は自己のユニットやバンドの他、アーティストサポート、ライブツアー、クラシックや教会音楽への回帰など、オルガン奏法研究者として独自の存在感を示し、後進の育成にも力を注ぐ。現行のデジタルオルガンはまだオリジナル Hammondに僅かに及ばない、という信念から、現在でも演奏活動には可能な限りB-3などウィンテージのトーンホール式 Hammondや管球式レスリーを運搬し使用している。